

効果的な利用案内 –LibraryNAVI を使って–

神奈川県医療情報ネットワーク協議会

清水 麻紀¹⁾、伊藤 友香²⁾、高橋 綾野³⁾、山本 一騎⁴⁾、山口 文子⁵⁾、和気 たか子⁶⁾

1) 伊勢原協同病院、2) 茅ヶ崎徳洲会総合病院、3) けいゆう病院、4) 横浜市立大学医学情報センター、5) 神奈川県立こども医療センター、6) 藤沢市民病院

【はじめに】神奈川県医療情報ネットワーク協議会（以下「神奈ネット」）の昨年の研修会において利用案内の再考をした。各自持ち寄った利用案内の配布とオリエンテーション時に使用するパワーポイントの案内の紹介後、意見交換を行った。さらに「LibraryNAVI：図書館利用者の掌に収まる、蛇腹折り紙の情報ナビゲーター」のワークショップも行った。詳しい利用案内も必要であるが、忙しい医療従事者にいつでもどこでも見返してもらえる案内があってもいいのではないかと考えた。胸のポケットに収まり、内容を簡素化した案内をこの LibraryNAVI で作成することにした。

【目的】

- 1.共通版フォーマットを作成することにより、一から利用案内を作成する業務時間を短縮する。
- 2.目新しい案内の配布により、図書室を活性化させる。

【方法】各図書室共通の必要な案内(図書室利用案内、医中誌 Web、PubMed、メディカルオンライン)の雛型案を数種作成し、付け合わせをして共通版とする。次に共通版を使い、各自アレンジして自室用を作成する。各図書室で利用者に配布し、後日、インタビュー形式で利用者にアンケートを実施する。データをまとめ、問題点を探り改良し、神奈ネット共通版 Ver.1 へとつなげていく。

【調査方法】期間：2011年6月1日～30日、対象：発表病院ほか協力病院、項目：略

【結果・考察・まとめ】震災の影響により、調査実施が遅れたため、当日発表となります。ご了承ください。

【参考文献】

- 1.松田ユリ子，宮永敏明．LibraryNAVI（ライブラリー・ナビ）を使った情報リテラシー教育．全国図書館大会要綱.2007.10,93回,p.278-280.
- 2.田子環．情報リテラシーと高校図書館～魅力ある授業づくりのパートナーとして～．図書館雑誌.2009.2,vol.103,no.2,p.88-90.
- 3.高橋綾野．LibraryNAVIを使った効果的な利用案内(仮)．ほすびたる らいぶらりあん．2011， vol.36,no.2（投稿中）
- 4.LibraryNAVI アーカイブ．<http://librarynavi.seesaa.net/>，（参照 2011-05-26）.



LibraryNAVI
の掲示例と見本

